

## 国際会議レポート APEC 2007

### The 22nd Annual Applied Power Electronics Conference and Exposition

#### 1. 会議の概要

APEC (Applied Power Electronics Conference and Exposition) は 2007 年 2 月 25 日～3 月 1 日にかけて、米国カリフォルニア州アナハイムに位置する Disneyland Hotel で開催された。APEC は今年で 22 回を迎える伝統ある国際会議であり、The Premier Event in Applied Power Electronics と称している。今回、開催地がディズニーランドリゾートであったためか、参加者数は 2787 人のほり、APEC のウェブサイトによれば記録的であった。参加者の所属研究機関は 1,000 を超えており、32 ヶ国からの研究者・技術者が一堂に会し、議論を交わした。

Plenary Session に先立って、18 の Professional Education Seminar が開講され、Plenary Session に続いて 32 の Technical Session、1 つの Dialogue Session、5 つの Special Session が開かれた。また、この会議の名称の示すとおり、APEC は Exposition にも力を入れており、全 135 社が展示・デモンストレーションを行った。恒例の Micromouse Contest も行われ 9 チームが参加した。

#### 2. 会議の印象

APEC は筆者にとって 4 度目の国際会議である。ロスアンゼルスからアナハイムまでバスで 1 時間半ほどを要する。この時期の気候は東京と変わらないと感じた。

26 日の午後、Bob Mammano 氏 (Texas Instruments) の講演を皮切りに Plenary Session が開始した。6 人の優れた研究者による発表は、いずれも興味深かったが、特に印象に残ったものは、NASA/カリフォルニア工科大学・ジェット推進研究所の Vatche Vorperian 博士による研究報告である。筆者は現在、双方向絶縁形 DC-DC コンバータを 6.6 kV 配電システムに応用する研究に携わっているが、同様の回路方式を宇宙船にも応用しようという点に驚くと共に、世界中にライバルがいるという認識を新たにした。

APEC の 1 つの特徴は企業展示の規模である。135 社が 1 つの大きなホールで自社製品を展示しており、さながら CEATEC JAPAN のパワーエレクトロニクス限定版であった。また、APEC 特有と思われるものに Exhibitor Seminars がある。これは、企業が自社のパワーエレクトロニクス関連製品の特長や使い方について発表・チュートリアルを行うものであり、中には数社の技術者たちがパネルディスカッションを行うものもあった。

APEC は技術者のみならず、パワーエレクトロニクス市場を舞台に活躍するビジネスパーソンをも対象としており、Marketing Trends や Doing Business with Power Electronics といった Special Session を設けていた。

2 月 28 日の夕刻から Disney's California Adventure 内の Studio 17 にて Social Event が開催された。他の国際会議で Banquet と呼ばれているものに近いが、表彰や次回開催地のアナウンスなどはなく、余興を交えた夕食会と言うべきものであった。登場したコメディアンによるコントに会場は盛り上がりを見せたが、残念ながら私には彼らのジョークの 6 割ほどしか理解できなかった。Social Event の間、APEC 参加者は絶叫マシン Tower of Terror に無料で搭乗できたそうであるが、翌朝に発表を控えていた筆者は遠慮させていただいた。決して、絶叫マシンが苦手なためではないことを強調させていただきたい。

よく言われているようであるが、APEC は多分にアメリカの国内会議のような性格も有している。日本からの参加者も少ないように感じた。

次回の APEC はテキサス州オースティンの Austin Convention Center にて 2008 年 2 月 24 日～28 日にわたって開催される予定である。



写真 1 Social Event の様子



写真 2 筆者と Tennessee 大学の Surin Khomfoi 氏  
( Dialogue Session にて )

井上 重徳 (東京工業大学)  
(平成 19 年 3 月 25 日受付)